



北嵯峨進路だより



～1年生版～ 第4号 令和3年2月18日発行
京都府立北嵯峨高等学校進路指導部

2021年度(現3年生)から大学入試が大きく変わりました。今回は様々な変更点の中から大学入学共通テストと総合型選抜を取り上げます。今後の学習の参考にしてください。



センター試験から共通テストへ



今年度から大学入試センター試験が大学入学共通テストと名称が変わり、より思考力や判断力が重視されるテストとなりました。また英語のリスニングの配点が倍増するなど構成が大きく変わった科目もありました。今後授業等で教科担当の先生から詳しい内容についての解説や学習法の指導があると思いますが、ここではこれから学習を進めていく上でのアドバイスを一つします。受験を終えた3年生から「**問題の分量が多く時間が足りなかった**」や「**単なる知識だけではなく、しっかりと読み取って判断しないと正解できない**」などの感想が聞かれました。一方で「**きちんと勉強できていれば答えられる問題**」といった声もありました。つまり、難易度が高くなったというよりも**多くの情報をすばやく処理する力が求められる**テストになったと言えます。今後の学習でまず意識すべきことは



(英語も含めて) 文章を速く読んで理解できる

ように訓練することです。短期間で得られる力ではありません。日々少しずつ継続的に学習を進めていきましょう。



AO入試から総合型選抜へ



昨年度までAO入試と呼ばれていた入試は「総合型選抜」という名称に変わりました。総合型選抜では学力とその他の活動等が総合的に評価されます。こ

こで重要なのは、**学力検査が必須であることです**。学力検査とは共

通テスト、小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係

わるテスト、資格・検定試験の成績などです。**AO入試では実質書類を提出**

するだけで合格することができる学校がありました。しかし、総合型選抜

ではそのような選考はできないことになっています。つまり、受験生は学力検

査も含め今まで以上に時間をかけて準備しなければなりません。また総合型選

抜で良い結果がでなかった場合に備えて一般選抜へ向けた

学習も進めることが賢明だと言えます。そういう意味でも

左の記事にある**共通テスト**への対策は総合型選抜と一般

選抜の両方をカバーできるので効率のよい準備だと言えます。



※昨年度までの推薦入試は**学校推薦型選抜**という名称に変わりました。今回は取り上げていません。



共通テストと総合型選抜へ向けた準備として共通していることは今まで以上に**自ら考える力**が求められることです。暗記型の勉強ではなく、学習した内容を自分の言葉で説明できるようにするなど、**深い学び**を意識して取り組みましょう。